

# 春日部駅付近連続立体交差事業 測量説明会

## 開催結果・主な質疑内容について

### 1 開催場所・開催日時・来場者数

開催場所：春日部市中央公民館

開催日時	来場者数
第1回 令和元年6月14日（金）午後 7時00分～	107名
第2回 令和元年6月15日（土）午前 10時30分～	85名
第3回 令和元年6月15日（土）午後 3時30分～	36名
第4回 令和元年6月16日（日）午前 10時30分～	58名
合 計	286名

### 2 主な質疑内容

#### 《測量について》

Q 測量の工区分けの図面が配付資料では小さいので、見やすいものを提示してほしい。

A（越谷県土整備事務所）

改めてホームページで見やすいものを用意します。また今後、配付または送付する測量実施の案内文にも拡大した図面を添付します。

Q 説明会に測量会社の職員が出席しているが、顔がよく見えない。説明資料にある身分証明書は顔写真がないため、不安である。

A（越谷県土整備事務所）

測量会社の担当者は、埼玉県または春日部市の公印を押印した身分証明書を携帯します。顔写真については検討します。

## 《土地の境界確認について》

Q 土地の境界を確認する際、隣接地の土地所有者の立会いが必要であるとのことだが、隣接地は空家で、所有者と思われる方は亡くなっている。その場合、立会いはどうするのか。

A (越谷県土整備事務所)

登記簿等を調査し、土地所有者を確認します。土地所有者が亡くなっていることを確認した場合は、立会いについて法定相続人に連絡します。

Q 土地の境界確認の立会いの際、持参するものは何か。

A (越谷県土整備事務所)

印鑑および委任状（土地所有者以外の方が立会う場合）の持参をお願いします。

Q 土地の境界確認の立会いは1回で終わるのか。

A (越谷県土整備事務所)

1回となるよう調整していますが、調整が難しい場合は、大変恐縮ですが複数回お願いする可能性もあります。

Q 土地所有者の名義が夫であるが、妻が土地の境界確認に立会う場合は委任状が必要なのか。

A (越谷県土整備事務所)

必要となりますので、委任状の用意をお願いします。

Q 案内文に記載された日で土地の境界確認の立会いができない場合は、どのようにするのか。土曜、日曜の対応は可能なのか。

A (越谷県土整備事務所)

土曜、日曜も含め、日程調整させていただきます。

Q マンションでは、どのように土地の境界確認の立会いを実施するのか。

A (越谷県土整備事務所)

立会いは、マンションの管理組合の理事など、代表の方をお願いすることになると思います。総会を開催していただき、理事を立会い者とする旨の決定をしていただくなどお願いいたします。

## 《土地をお譲りいただく場合、お貸しいただく場合について》

Q 所有地が買収と借地の両方に該当すると思われる。貸した土地を返却された場合、所有地が現在の半分程度になる。その際、建物を建築することができるのか。

A (越谷県土整備事務所)

土地をお返しした後の敷地の面積等によります。同じ箇所では建築できるか、別の土地に移転しての建築なのか建物の機能面や法令面で建築が可能かどうか検討した後、個別に相談をさせていただきます。建物等の移転をお願いする時は、その費用も補償の対象となります。

Q 買収となる箇所、借地となる箇所は具体的にはどこか。

A (越谷県土整備事務所)

今回、測量を実施することで土地をお譲りいただく箇所、お貸しいただく箇所が明らかになります。越谷県土整備事務所のホームページで、その箇所の目安を追記した都市計画図（説明会会場に掲示したもの）を閲覧することができます。

Q 土地を譲った後の残地が狭小で有効利用が難しい場合、その部分も買い取ってもらえるのか。

A (越谷県土整備事務所)

県では買い取りはできませんが、例えば隣接地の方へ買っていただけないか声かけをするなど、個別に相談させていただきますながら、できる限りの御協力をさせていただきます。

Q 今後の用地交渉のなかで、都市計画線及び借地線が変更になることはあるのか。

A (越谷県土整備事務所)

都市計画線等の変更は考えていません。

(東武鉄道)

仮線路や側道を建設する際のお譲りいただきたい土地、お貸しいただきたい土地とは別に、工事を実施する際の施行ヤードなどについて、別途、お貸しいただけるよう調整させていただく場合があります。

Q 買収となる土地、借地となる土地が混在している場合には、土地評価はどのようになるのか。

A (越谷県土整備事務所)

個別の画地ごとに土地評価を行い、土地をお譲りいただく場合の土地代金、土地をお貸しいただく場合の使用料について算定します。建物等の移転をお願いする時は、その費用も補償の対象となります。

## ○その他事業全般について

### 《事業について》

Q いつ着工し、いつ完成するのか。事業はスピーディーに実施し、住民に対しても十分な説明をしてほしい。

A (越谷県土整備事務所)

事業については皆様からの期待を感じています。令和元年度は事業認可の取得を目標としており、令和2年度から土地をお譲りいただく、またはお貸しいただくをお願いをしたいと考えています。事業認可から最短12年で完了させるよう努力し、進めていきます。

今後もお住まいの方に対し、しっかりと話をする機会を設け、理解を得ながら進めてまいります。

### 《都市計画について》

Q 都市計画線の詳細を教えてください。

A (越谷県土整備事務所)

大まかな図面(1/2500)ではありますが、埼玉県または春日部市のホームページで閲覧することができます。また、埼玉県都市計画課または春日部市都市計画課でも閲覧することができます。

○ホームページ

「埼玉県」で検索

総合トップ > くらし・環境 > まちづくり > 都市計画 > 都市計画の進捗状況 > 都市計画手続きの進捗状況 > 東部地域 > 春日部都市計画の決定(変更)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/all102/toshikeikakunosintyoku/18kasukabetos hikeikaku.html>

「春日部市」で検索

トップページ > まち・環境 > 都市計画 > 計画・ガイドライン > 春日部駅付近連続立体交差事業に関する春日部都市計画の決定・変更を行いました

<https://www.city.kasukabe.lg.jp/machi/toshi/keikaku/toketsu31-3-8.html>

## 《側道について》

Q 側道の幅はどの程度か。

A (春日部市)

側道の幅員は、主に6mで計画しています。

Q 春日部駅東口周辺の側道（7・7・3号区画街路2号線）は、今回測量の対象となるのか。

A (春日部市)

東口周辺の側道の2路線（7・7・3号区画街路2号線、8・7・1号特殊街路1号線）は、今回の測量では主に現況測量を実施させていただき、その結果を基に設計を進める予定です。

用地測量を実施する際には、改めてご説明させていただきますが、その時期については、連続立体交差事業の進捗を踏まえ検討します。

## 《鉄道構造物について》

Q 駅の出入口は高架化によって変わるのか。

A (東武鉄道)

春日部駅は、東口と西口の駅前広場を結んだ箇所には自由通路を建設し、その中に改札口を設置する予定です。北春日部駅、八木崎駅は現在の構造と変わりません。

Q 高架橋の高さはどのくらいとなるのか。

A (東武鉄道)

10m程度となります。

Q 平成30年の都市計画説明会や今回の測量説明会では現在と同じ位置に高架橋が建設されるとのことであったが、春日部駅から北春日部駅間では西側（春日部駅から北春日部駅に向かって左側）も測量の対象となっている。なぜか。また、この区間の仮線路の位置はどこか。

A (東武鉄道)

本事業は、仮線工法を採用しており、いったん東側に仮の線路を設置し、現在の線路位置に高架橋を築造することとしています。ただし、お尋ねの箇所を含めて、現在の線路位置より西側に高架橋を築造する区間もございます。今回はその範囲を明確にするため、測量させていただきたいと考えます。

### 《踏切について》

Q 野田線第85号踏切（春日部駅から八木崎駅間の最も八木崎駅寄りの踏切）が廃止となるのは困る。

A（春日部市）

本踏切が市民の皆様の生活に不可欠であり、通学路にも指定されていることを認識しています。皆様の不安が解消できるよう、地域の皆様と共に、今後のまちづくりの中で検討してまいります。

### 《関連する街路について》

Q 3・4・8号袋陣屋線の測量は、今回の説明になかったが、どのように考えているのか。

A（越谷県土整備事務所）

3・4・8号袋陣屋線は、鉄道の高架化の完成時期を見据え、その進捗にあわせて事業を実施します。測量については、今回とは別に実施します。

Q 3・4・31号春日部駅東西連絡道路の測量は、今回の説明になかったが、どのように考えているのか。

A（春日部市）

3・4・31号春日部駅東西連絡道路は、鉄道の高架化の完成時期を見据え、その進捗にあわせて事業を実施します。測量については、今回とは別に実施します。

### 《環境について》

Q 高架橋を建設することによって、日影になり、環境が悪くなるのではないかと。

A（越谷県土整備事務所、春日部市）

鉄道の高架化により、主に高架構造物の北側に日影が発生しますが、その対策として、環境側道を設置することで、日影の影響を少なくしてまいります。